

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語

	全体	学習指導要領の内容				
		言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
杵築市	70	70.4	65.9	77.3	33.8	74.6
大分県	69	71.6	63.2	76.0	28.3	72.9
全国	67.2	71.2	63.4	72.6	26.7	71.2

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」、「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う」（知識・技能）は全国平均を0.8ポイント上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」領域の「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話しての考えと比較しながら自分の考えをまとめる」（思考・判断・表現）は全国平均を8.1ポイント上回っている。
- 「書くこと」領域の「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」（思考・判断・表現）は全国平均を7.1ポイント上回っている。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「日常よく使われる敬語を理解している」（知識・技能）は全国平均を4.6ポイント下回っている。
- 正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国より少ない。（市：3.0% 全国：4.2%）
- 14問中12問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が4問あり、自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

小学校：国語

- ① 「漢字を文の中で正しく使う」ことについては、今後も継続して漢字の持つ意味を考えながら使ったり、同音異義語に注意して使ったりする習慣を付ける。そのために、国語辞典や漢字辞典を活用して意味を調べたり同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習などを取り入れる。また、タブレット（AIドリルや漢字アプリ等）で既習の漢字の習得を図る。言語能力の育成は必須であり、読書活動の推進も図る。
- ② 国語科での言語活動において、自分の考えを書く活動を取り入れ、根拠をもとに説明させる等、表現させる学習を積み重ねてきた。話し合い活動を取り入れる際は、話し合う目的や意図を明確にしたうえで、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるよう、多様な表現を話し合いの中で用いることにより話し合いの質の向上を図っていく。
- ③ 敬語を使う場合、相手と自分との関係を意識しながら、相手や場面に応じて適切に使うことが大切であることから、地域人材との交流等による生活に根ざした体験活動の中で習得を図っていくことも考えられる。
- ④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や家庭学習で取り組み、定着を図る。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数

	全体	学習指導要領の領域			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
杵築市	65	70.6	48.1	70.2	71.2
大分県	64	68.5	51.0	71.1	67.5
全国	62.5	67.3	48.2	70.9	65.5

- 「数と計算」の領域では、「加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る」（知識・技能）は全国平均を6.9ポイント上回っている。
- 「データの活用」の領域では、「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と式を用いて記述できる」（思考・判断・表現）は全国平均を9.5ポイント上回っている。
- 「図形」の領域では、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断する」（思考・判断・表現）は全国平均を1.6ポイント下回っている。
- 「変化と関係」の領域では、「百分率で表された割合について理解している」（知識・技能）は全国平均を2.1ポイント下回っている。
- 正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国・県より少ない。（市：4.0% 県：5.1% 全国：6.4%）
- 16問中14問で、無解答率が全国値より低い。自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

小学校：算数

- ① 「データの活用」については「複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断できない事柄について判断するためのグループでの話し合い活動」が効果的であったと思われる。今後も継続して取り組むことで一層の定着を図っていく。
- ② 「図形」領域では、正三角形や正方形・台形の意味や性質について理解できている。半面、図形の構成する要素に着目し、見方・考え方を働かせ、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだすことができていると考えられる。具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるようにするための問題解決的な展開の授業改善を引き続き推進する。
- ③ 割合を用いて問題を解決する場面において、示された割合から基準量を具体的に決めて、それに対する比較量を捉えることができるようにすることができていなかったと考えられる。日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導する。
- ④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や家庭学習で取り組み、定着を図る。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語

	全体	学習指導要領の内容					
		言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語 文化に関する 事項	話すこと・聞 くこと	書くこと	読むこと
杵築市	69	64.3	61.4	77.4	80.6	60.5	64.0
大分県	69	65.2	62.6	76.4	81.4	60.1	62.2
全国	69.8	67.5	63.4	74.7	82.2	63.2	63.7

□全15問（選択式7問・短答式4問・記述式4問）であった。記述式問題形式については全国正答率68.0%であるのに対して杵築市69.0%と昨年に引き続き全国平均を上回っている。

■「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、「文脈に即して漢字を正しく書く」（知識・技能）で全国平均を4.8ポイント下回っている。

□「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる」（思考・判断・表現）は全国平均を7.0ポイント上回っている。

■「話すこと・聞くこと」の領域では、「目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる」（思考・判断・表現）で全国平均を3.9ポイント下回っている。

■正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国・県より多い。（市：6.0% 県：4.8% 全国：4.5%）

□15問中10問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が4問あり、自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

中学校：国語

- ① 今年度課題が見られた「文脈に即して漢字を正しく書く」ことについては、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことができるよう指導する。1人1台端末等で文字を入力する際にも適切な漢字を選択することができるよう、変換の際に意味を確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることができるように指導することも考えられる。
- ② 成果が見られた記述式問題については、各学校の授業改善による思考ツールの活用や、学び合いの場の設定が効果的であったと思われるため、今後も継続して取り組む。
- ③ 「話すこと・聞くこと」については、総合的な学習の時間の職場体験学習や、他教科の中でも話し合い活動を意図的に仕組むなど、教科横断的な視点で教育課程を編成し指導していく。
- ④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や週末課題（家庭学習）で取り組み、定着を図る。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	データの活用
杵築市	53	63.8	29.7	56.1	54.2
大分県	49	60.8	28.7	50.4	48.3
全国	51.0	63.0	33.2	51.2	48.5

□全15問（選択式4問・短答式6問・記述式5問）であった。短答式で全国正答率62.6%に対して杵築市68.0%と昨年度に引き続き全国平均を上回っている。記述式については、前年度の正答率を3.8ポイント上回ったが、全国平均を2.4ポイント下回っている。

■「図形」の領域では、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」（思考・判断・表現）で全国平均を10.3ポイント下回っている。

□「関数」「データの活用」領域では、概ね良好であり、昨年引き続き全国平均を上回っている。

□正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国・県より少ない。（市：15.0% 県：19.6% 全国：17.5%）

□15問中12問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が4問あり、自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

中学校：数学

- ① 「振り返り」の場面で、振り返りシートを活用することに引き続き取り組む。理解が不十分な生徒に対し個別に教材を用意し取り組ませることにより、学習内容の定着を図る。
- ② 今年度改善が見られた「データの活用」については、データを読み取った上で、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考える活動（ペア・グループ活動）が効果的であったと考えられる。1人1台端末や、大型提示装置を有効活用し、今後も継続し指導する。
- ③ 「図形」については、証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるように指導する必要がある。その際、1人1台端末や、大型提示装置を有効活用し、視覚的に生徒を補助することも考えられる。
- ④ 上記の改善方策や1人1台端末の活用を取り入れた授業について、校内研究会や杵築市教育課程研究協議会の授業研において公開し、多くの教員が参観することによって、どの学校でも全ての生徒が考え表現する授業を実施できることを目指す。
- ⑤ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や週末課題（家庭学習）で取り組み、定着を図る。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：英語）

1 調査結果の分析

中学校：英語

	全体	学習指導要領の領域		
		聞くこと	読むこと	書くこと
杵築市	42	57.2	44.3	19.9
大分県	41	53.3	47.5	19.1
全国	45.6	58.1	51.2	23.4

- 全17問（選択式12問・短答3問・記述式2問）であった。全ての問題形式の正答率で県の数値を上回っている。選択式で4.1ポイント、短答式で4.8ポイント、記述式で1.7ポイント全国平均を下回っている。
- 「聞くこと」の領域では、「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る」（思考・判断・表現）が全国平均を3.1ポイント上回っている。
- 「読むこと」の領域全体では、全国平均を6.9ポイント下回っている。
- 「書くこと」の領域全体では、全国平均を3.5ポイント下回っている。
- 正答数4問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国・県より少ない。（市：20.4% 県：32.1% 全国：26.6%）
- 17問中16問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が10問あり、自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

中学校：英語

- ① 学習指導要領の「聞くこと」の領域については、教師や友人の話す英語を聞く活動や、ALTやALTコーディネーターの有効活用等による学習活動を継続し、より一層の定着を目指す。
- ② 「読むこと」領域で、文章の概要を捉えさせるには、個人では気づかない視点を得るために、生徒同士で検討するペア・グループ活動の場面を設定する。その際、1人1台端末や、大型提示装置を有効活用する。
- ③ 「書くこと」領域で、生徒質問紙70「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか」では、全国値を1.3ポイント上回っていることから、今後も自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れる。その上で、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことができるよう指導する。
- ④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や週末課題（家庭学習）で取り組み、定着を図る。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童質問紙

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計（%）

<基本的生活習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
1	朝食を毎日食べていますか	91.9	93.9	-2.0
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.3	81.0	+4.3
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.4	90.5	+2.9
31	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） ※1時間以上の割合	21.1	17.9	+3.2

<自己有用感、規範意識等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
4	自分には、よいところがあると思いますか	86.3	83.5	+2.8
7	将来の夢や目標を持っていますか	83.7	81.5	+2.2
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.9	96.9	-1.0

<学習習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	74.7	70.7	+4.0
18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	56.6	57.1	-0.5
20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上の割合）	36.9	37.3	-0.4

<ICTを活用した学習状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
29	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	89.4	86.3	+3.1
30	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	97.0	95.1	+1.9

<地域や社会に関わる活動の状況等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
25	今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.1	57.8	+4.3
26	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	70.2	76.8	-6.6

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	70.7	63.7	+7.0
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	86.4	78.8	+7.6
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.8	77.4	+2.4

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
43	国語の勉強は好きですか	62.7	61.5	+1.2
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.9	85.7	+2.2
51	算数の勉強は好きですか	60.1	61.4	-1.3
53	算数の授業の内容はよく分かりますか	79.2	81.2	-2.0
55	英語の勉強は好きですか	70.7	69.3	+1.4

生徒質問紙

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計 (%)

<基本的生活習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
1	朝食を毎日食べていますか	90.5	91.2	-0.7
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.2	78.0	+5.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.4	91.3	+5.1
35	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） ※1時間以上の割合	14.5	13.4	+1.1

<自己有用感、規範意識等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
4	自分には、よいところがあると思いますか	81.9	80.0	+1.9
7	将来の夢や目標を持っていますか	60.2	66.3	-6.1
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.9	95.5	+0.4

<学習習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	48.9	55.0	-6.1
17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	58.4	65.6	-7.2
20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上の割合）	28.5	28.4	+0.1

<ICTを活用した学習状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
33	1・2年生の時受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	84.6	87.5	-2.9
34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	92.7	93.3	-0.6

<地域や社会に関わる活動の状況等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.1	38.0	+8.1
30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	57.4	63.9	-6.5

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
36	1・2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	50.7	62.1	-11.4
37	1・2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.4	79.2	-2.8
44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	69.2	69.2	±0

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
47	国語の勉強は好きですか	70.5	61.4	+9.1
49	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.7	80.0	+7.7
55	数学の勉強は好きですか	52.1	56.7	-4.6
57	数学の授業の内容はよく分かりますか	70.1	73.3	-3.2
59	英語の勉強は好きですか	45.2	51.9	-6.7
61	英語の授業の内容はよく分かりますか	58.4	63.9	-5.5

2 杵築市の児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

「自立した学習者の育成」に向けて

(小学校)

- ・子どもたちが見通しを持って学び、「できる」「わかる」を味わうことができる授業の創造。
- ・1単位時間の授業や単元を通した学習内容について、他者と協働して得た意見を踏まえた「振り返り」の充実。
- ・各自に目標を持たせ、時間や回数、ペース等取り組み方の工夫の推進。
- ・発達段階に応じた自主学習の取組の推進。
- ・「集会」や「ふるさと発見学習」を設定。めあて・実行・振り返りのサイクルを大切にして知恵を出し合いながらの取組を図る。

(中学校)

- ・教科の特性に応じたノート（ワークシート）づくりや「まとめ・振り返り」の日常化及び教科部会で検証改善する取組の推進。
- ・主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする場面設定の推進。
- ・言語活動ハンドブック等を活用し、自分の考えを発表し他者と広げたり、深めたりする場面設定の推進。
- ・家庭学習の点検による進路指導計画に沿った指導・助言の充実。

(小・中学校共通)

○基本的生活習慣等の確立を図る。

- ・家庭と学校で連携した基本的な生活習慣の確立。

○児童生徒の学習意欲の向上を図る。

- ・教科愛好度の向上。
- ・「教師主導の学び」から伴走者的な役割への転換。
- ・基礎・基本のさらなる定着。（低学力層の児童生徒への支援）
- ・自分の考えを広げたり、深めたりする話し合い活動の推進。
- ・学習で得た知識や技能を活用する、教科横断的な発想と実践。
- ・1人1台端末を効果的に活用した授業づくりの推進。
- ・スマホやゲームの約束について家庭で話す場の設定。

○読書への興味・関心の向上を図る。

- ・授業における学校図書館の活用、辞書の活用等の取組の推進。

○地域や社会への興味・関心を深める。

- ・地域教材や地域人材の活用の推進。

○安心できる学校生活の構築と自尊意識の向上を図る。

- ・校内での相談体制の再確認と、SC・SSW等の活用推進。
- ・生徒指導の3機能を生かした授業づくり。
- ・人間関係づくりプログラムの充実による日常生活の絆づくり。

【 杵 築 市 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計（%）（ ）は全国の数値

小学校：学校質問紙

<自己有用感，達成感等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
9	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100 (87.6)
11	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100 (86.5)
12	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	100 (97.0)
10	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100 (98.9)

<学校運営／教職員の資質能力の向上に関する取組状況に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
14	I C Tを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100 (98.3)
19	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立していますか	100 (96.2)
20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100 (95.5)
22	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	100 (98.5)
23	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	100 (88.8)

＜主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況＞

番号	質問事項	学校質問紙回答
26	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	80.0 (88.9)
31	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100 (93.1)

＜ICTを活用した学習に関する取組状況＞

番号	質問事項	学校質問紙回答
52	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか（週3回以上の割合）	70.0 (88.5)
55	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか（週3回以上の割合）	80.0 (90.6)

＜小学校教育と中学校教育の連携に関する取組状況＞

番号	質問事項	学校質問紙回答
69	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	80.0 (53.6)

＜家庭や地域との連携等＞

番号	質問事項	学校質問紙回答
72	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	90 (95.9)

＜家庭学習＞

番号	質問事項	学校質問紙回答
76	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	90 (95.7)
77	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	100 (90.6)

中学校：学校質問紙

<自己有用感，達成感等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
9	調査対象学年の生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか	66.7 (95.1)
11	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに，将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100 (98.6)
12	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	100 (96.1)
13	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに，学校生活の中で，生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100 (98.3)

<学校運営／教職員の資質能力の向上に関する取組状況に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
16	I C Tを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100 (97.7)
19	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立していますか	100 (95.2)
20	指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100 (88.5)
22	授業研究や事例研究等，実践的な研修を行っていますか	100 (94.7)
23	生徒自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	100 (83.8)

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
26	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	100 (88.0)
34	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100 (87.7)

<ICTを活用した学習に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
60	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか（週3回以上の割合）	100 (89.2)
63	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか（週3回以上の割合）	66.7 (86.7)

<小学校教育と中学校教育の連携に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
77	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	100 (54.7)

<家庭や地域との連携等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
80	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	66.7 (82.1)

<家庭学習>

番号	質問事項	学校質問紙回答
84	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	100 (90.9)
85	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	100 (84.4)

2 杵築市の学校質問紙調査の結果をふまえて

- 市内小中学校においては、概ね落ち着いた生活を送ることができている。また、達成感を味わうことができる取組、自己存在感を感じることができる取組も図られている。引き続き、児童生徒が安心して学習や生活を行うことができる組織的な校内体制づくりに取り組む。
- 各学校において、学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。校長のリーダーシップのもと、学校運営及び組織全体で行う教職員の資質向上に関する取組を今後も推進していく。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善が推進されている。日々の授業において、「新大分スタンダード」を意識した単元構想による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて引き続き授業改善を推進する。
- 小学校と中学校の連携については、中学校区での各種学力調査等の成果と課題の共有が進みつつある。9年間を見通した学力の定着を図るためにも、校種を超えた公開授業への参加を積極的に呼びかける等、小中連携の取組を推進する。
- ◇家庭学習については、学校と家庭が連携し、児童生徒の主体的な家庭学習の充実を図る取組が進められている。しかし、児童生徒の意識と差が生じていることから、本市が目指す自立した学習者の育成に向け、今後も家庭学習についての指導が効果的に進められるよう、AIドリルの効果的活用等、児童生徒の実態に応じた家庭学習の取組を継続していく。
- ◇本時で具体的な評価規準を設定し、努力を要する状況の児童生徒への具体的な手立てを講じた授業を推進する。
- ◇学校・家庭・地域が目標の達成に向けて協働する学校運営協議会の取組を推進する。
- ◇タブレットなどのICT機器の活用が進んでいるものの、サポート体制に課題がある。専門スタッフ（教員を除く）の配置を継続し学校へのサポート体制を整えるとともに、通信速度の向上など、さらなる環境整備を進める。